

化学物質と環境円卓会議（第9回）議事要旨

1. 開催日時：2004年3月11日（木） 9:30～12:30
2. 開催場所：主婦会館プラザエフ 9階「スズランの間」
3. 出席者（敬称略）：

＜ゲスト＞

城内 博 日本大学大学院理工学研究科教授
増沢 陽子 鳥取環境大学環境政策学科助教授

＜学識経験者＞

原科 幸彦 東京工業大学工学部教授
安井 至 国際連合大学副学長

＜市民＞

有田 芳子 全国消費者団体連絡会事務局
大沢 年一 日本生活協同組合連合会環境事業推進室長
後藤 敏彦 環境監査研究会代表幹事
崎田 裕子 ジャーナリスト、環境カウンセラー
角田季美枝 バルディーズ研究会運営委員
中下 裕子 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議事務局長

＜産業界＞

瀬田 重敏 (社)日本化学工業協会広報委員長
田中 康夫 レスポンシブル・ケア検証センター長
中塚 巖 (社)日本化学工業協会 ICCA 対策委員長
吉村 孝一 日本石鹼洗剤工業会環境・安全専門委員長
和田 政信 (社)日本自動車工業会（菅裕保代理）
嵩 一成 日本チェーンストア協会環境委員

＜行政＞

染 英昭 農林水産省大臣官房審議官
滝澤秀次郎 環境省環境保健部長
鶴田 康則 厚生労働省大臣官房審議官
福水 建文 経済産業省製造産業局次長

（欠席）

北野 大 淑徳大学国際コミュニケーション学部教授
村田 幸雄 (財)世界自然保護基金ジャパンシニア・オフィサー
西方 聡 (社)日本電機工業会化学物質総合管理委員会副委員長
片桐 佳典 神奈川県環境農政部技監

（事務局）

安達 一彦 環境省環境保健部環境安全課長

4. 議事概要

- ・ 事務局から、メンバーの変更（大池さん→吉村さん、河内さん→中塚さん、横山さん→西方さん、大野さん→嵩さん）について報告した。
- ・ これまでのリスクコミュニケーションに関する議論の整理についての意見交換が行われた。
- ・ 城内さんから化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）について、増沢さ

んから化学物質政策における「表示」の意義についての説明が行われた。

- GHS についての意見交換が行われた。

[事務局が配布した資料]

- 資料 1 リスクコミュニケーションに係る議論について
- 資料 2 - 1 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）について（城内さん講演資料）
- 資料 2 - 2 GHS 制定の経緯とその概要（城内さん資料）
- 資料 2 - 3 化学物質政策における「表示」の意義について（増沢さん講演資料）

[事務局が配布した参考資料]

- 参考資料 1 化学物質と環境円卓会議リーフレット
- 参考資料 2 第 8 回化学物質と環境円卓会議議事録（メンバーのみ配布）

[円卓会議メンバーが配布した資料]

- 有田さん資料 GHS に期待する～消費者の視点から～
- 滝澤さん資料 1 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）に関するパンフレットの作成について（お知らせ）
- 滝澤さん資料 2 「化学物質と環境に関する学習関連資料」の試作版公表と人気投票の開始について（お知らせ）